



すべての方々に感謝

池田 美智子

今年の「母の日」にテレビから「お母さん、乳癌で死なないで」と聞こえてきました。

実はその時、ちょっと乳首の先がヒリヒリとしていたのでドキッとしました。嫁が5月12日、検診日だったのでさそわれて行きました。あとでわかったのですが、私の街のドクター特集というのが町の新聞にのっていたブレストクリニックだったのです。自由に画像処理を行える高精細画像モニタで行う乳房超音波検査、ここで発見されたらもう間違いなく乳癌だと私は思いました。でも先生は「そうでないかも知れないから調べようね」と言って下さいました。「2、3日待ってね。待つのがつらいよね、急ぐからね」といろいろ気づかいを感じました。癌を告げられるのもつらいですが、先生もつらそうでした。紹介状を書くから早く行ってねと言われ、横浜労災病院乳腺外科〇〇先生をたより、5月21日お逢いする事が出来ました。

初めの先生の一言「何と言われたの」と心配そうに聞いて下さいました。「癌」と言われました。「そう」といって主人の方を見て「寝れているようですか、食欲はどうですか」などと聞いて下さいました。主人は「いつもと変わりません」と言ったら先生は安心したように「これから治療をするけど頑張ろうね」と言って下さいました。

先生のこの一言でほんとうに頑張れそうです。今CEF・EC療法に入りました。3泊4日の入院で投与していただきました。女医先生とのスタッフのチームワークがすばらしく、皆さんに見守られ過ぎ事が出来ました。

土曜日退院でお目にかかれな方々にごあいさつが出来ず、申し訳ございませんでした。ほんとうにありがとうございました。今、外来で投与をしています。今週帯状発疹が出て、1週間おくらせてしまいました。

これからもいろいろあると思いますが頑張ります。なんとか手術が出来、元気になれば、私もボランティア活動を今以上にと考えております。目標を持った方が明るく、前向になれそうな、そんな気がする今日この頃です。

